

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	Protools3	
科目基礎情報					
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2単位	開講時間	水曜日3・4/7・8限目	授業形態	講義
教科書/教材	Avid認定のProTools201テキスト				
担当教員情報					
担当教員	吉田 光宏		実務経験の有無・職種	有・ミュージッククリエイター/AVID認定トレーナー	
学習目的					
ProToolsの上位バージョンのProToolsHD。このソフトウェアの基本的な操作と、概念をマスターし、音楽関連の現場でエンジニアとして働く者として常識となる技術を習得する。ProToolsHDは特にプロ用のレコーディングテクニックへの対応が強化されており新しいサウンド作成としてもかかせない物であり、コンピュータを楽器として、レコーダーとして使用するため、アニメーションをはじめとする映像分野との連動も高くなっている。ProToolsを通じてレコーディングエンジニア、MAエンジニア、ラジオスタッフのあらゆる場面で活躍できることを目的とする。					
到達目標					
ProTools201の認定合格を目指す。この資格はPro Tools の設計・製造・販売元Avid社認定のワールドワイドな資格である。日本のみならず世界中のプロダクション等にPRできる強みがある。Pro Toolsの高い専門性を生かし、音楽、映像、放送など幅広い録音現場におけるエンジニアとして活躍できる機械を増やすためにも資格を取得する。資格試験の実施には日本国内では本校のような学校が環境、講師ともに最新の技術を導入している必要があり、毎年Avidに認定される必要がある。その貴重な機会を活かす。					
教育方法等					
授業概要	Avid・ProTools全般の操作と様々な用語と操作方法を理解する。一見、難解な専門用語も多くあるため、経験ある講師によって具体的な操作を用いながら解説される。講義教室での解説にはProToolsの画面を表示しながら、実際に現場で使われた音素材を参考にどのように変化していくか、聞きながら学ぶ事になる。音で聞きながら目でも確認することを心がけて参加する。				
注意点	この授業では、音を扱うプロとしてノイズと捉えられる授業中の私語や受講態度などには厳しく対処する。 公共交通機関の影響によるやむを得ない理由をのぞき遅刻や欠席は認めない。 授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	0%			
	小テスト	0%			
	レポート	80%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	成果発表 (口頭・実技)	0%			
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
授業計画（	授業内容		各回の到達目標		
1回	AvidProtools201の概要		Avid認定の201について。試験の開催について		
2回	プロツールスHDシステムの概要		HDネーティブシステムとHDXシステムについて、カードの種類、ボイスの考え方		
3回	HD特有のシステム		ProtoolsHDシステムのさまざまな設定		
4回	ボイスの考え方		ボイスの割り当て、優先されるボイス、トラックの優先順位、ボイスの解放		
5回	録音ボリュームのカスタマイズ		ディスクの割り当てやIO設定等		
6回	画面のカスタマイズ		ウィンドウの配置の記録、スクロールの種類		
7回	セッションの管理、トラックの複製		セッションの管理、3つの保存方法、トラックの複製機能の習得		
8回	デジベースブラウザー		3種類のデジベースブラウザーについて、検索の方法色々、タスクマネージャー		
9回	VCAマスタートラックの使用		トラックグループの属性の設定とVCAマスタートラックについての理解		
10回	ナッジ機能		様々なナッジ機能やシャトルモードでのスクラブ、色々なトリムツールを理解する		
11回	メモリーロケーション		メモリーロケーションの色々な使いかたや、色々なグラバーツールを理解する		
12回	ストリップサイレンス		ストリップサイレンス、オートフェード、時間操作ウィンドウについて		
13回	クリップの位置合わせ		クリップの様々な場所と編集ポイントを合わせる		
14回	色々なInputやOutputの設定		マルチアウトプット等、アウトプットやインプットの設定の様々なアサイン方法を習得する		
15回	Avid201まとめ。		Avid認定201受験対策		